

## 1. 評価結果(概要表)

作成日 2007年8月31日

## 【評価実施概要】

事業所番号	475400461		
法人名	社会福祉法人 ピーナズ会		
事業所名	四郎丸高齢者グループホーム「おちあい」		
所在地 (電話番号)	仙台市太白区四郎丸字大宮45-28 (電話)022-741-1655		
評価機関名	社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会		
所在地	宮城県仙台市青葉区五橋2丁目12番2号		
訪問調査日	平成19年8月7日	評価確定日	平成19年11月14日

## 【情報提供票より】(平成19年7月2日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成12年8月1日		
ユニット数	1	利用定員数	計 9 人
職員数	11 人	常勤	7 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 8.5 人

## (2) 建物概要

建物形態	併設	単独	新築	改築
建物構造	木造		造り	
	1階建て		1階 ~ 階部分	

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	27,000 円	
敷金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	260 円	おやつ	40 円
	又は1日当たり 800 円			

## (4) 利用者の概要( 月 日現在)

利用者人数	9人	男性	1人	女性	8人
要介護1	1人	要介護2	1人		
要介護3	4人	要介護4	1人		
要介護5	3人	要支援2	0人		
年齢	平均 84.4 歳	最低	76 歳	最高	91 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関人	内科星クリニック、大原英徳歯科医院、長町病院、宮城社会保険病院
---------	---------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市営住宅等、住宅地にあり、そばには特別養護老人ホームをはじめとする法人関連の施設もある。その中で、利用者の多くが地域の方であり、また地域の方々の理解を得ており、避難訓練や、災害時の協力がある。家族会も盛んで、普段の生活から行事の時まで、関わりながら暮らしている。法人の多機能性を活かし、法人内のデイサービスやショートステイの施設とも協力し情報を交換するなどして、入居までの流れをスムーズに行っている。ケア面では、本人・家族の協力の下、利用者個人の思い・希望を引き出し計画を作成している。また、本人馴染みの場所へ

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	「共用空間における居場所の確保」「利用者のベースの尊重」「市町村との連携」の3点について改善課題とされた。共用空間での居場所の確保については、のれんを下げ他利用者の目が入らないようなスペースを確保し、利用者で気のあった人同士で話ができるように工夫されている。また利用者のベースの尊重については、職員の話し振りや対応、生活リズムが個々人にあったものになっている。市町村との連携については、必要に応じて担当者で連絡を取っているが、現在は事業の受け入れや積極的な関わりを持つまでにはいっていない。
重点項目	今回の自己評価に対する取組状況(関連項目:外部4)
	自己評価については、管理者と職員全員が、職員ミーティングで相談し作成に至った。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に一回会議を開催し、外部評価内容の公表によるホームの質の開示に留まることなく、地域での防災時の対応や地域防災マップの作成など、運営推進会議を中心に地域とホームの結びつきを強めている。評価の活用法については、課題について取り組んでいる姿勢は確認できたが、計画を立て改善に取り組むという手法は取り入れられていない。今後は、「改善計画書」などの取り組みについての計画を作成し、事後評価するなどして、段階的かつ計画的に取り組むことが求められる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ホームに苦情担当窓口だけでなく、地域の民生委員に第三者委員になってもらい、より苦情を受け付けやすい環境づくりに努めている。また面会時や家族会の集まりなどでも直接本人、家族から意見などを聞く場を設けている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日頃の地域での関わりが長年にわたり継続されており、町内会への加入、広報誌の作成、配布など地域への信頼関係づくりに努力されている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取組を期待したい項目

外部	自己	475400461	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取組を期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくり上げている	「ゆっくり・たのしく・いっしょに」という事業所独自の理念を作り上げ、利用者の状況に合わせて年に1回程度理念の検討を行っている。		
2	2	理念の共有と日々の取組 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念が、職員一人ひとりの日々のケアの実践の基本となっている。また、毎月行っている職員会議やカンファレンスで理念についての話し合いや確認がなされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域との付き合い 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、夏まつり等の行事や老人クラブのゲートボール大会に参加している。近隣の美容室や、地域の方々とも顔なじみで、ホームにお茶のみに来ていただいたり、利用者が美容室を利用したりと常日頃からの交流がある。また広報誌「さわやかおちあい」も作成し回覧板で近隣への広報にも取り組んでいる。		
【情報提供票より】(平成19年7月2日事業所記入)					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を管理者を含め職員全員が理解し、評価を活かして改善に向けて取り組みがなされている。しかし、会議の中で外部評価のどの事項について検討し、取り組んだという記述のみで、具体的な計画を立て改善にむけて取り組んだという形にはなっていない。		外部評価について、管理者をはじめ職員のひとり一人が理解し、改善に向けて取り組んでいるが、具体的な改善項目や改善手段については文章化されていない。今後は、分かり易い改善計画書を作成し、改善に取り組んでいくことが求められる。
5	8	運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は二ヶ月1回、町内会会長、民生委員、地域包括支援センター、家族会が参加し、評価について検討を行ったり、行事報告や事業計画について話し合い、サービスの向上に活かしている。		

外部	自己	475400461	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取組を期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームとして、課題等について必要に応じて行政側と連絡を取り、その都度対応している。しかし、課題内容等によりそれぞれ行政の担当者が異なるため、ホームの運営に関する考え方や実態を共有し、共に解決を図っていくという関係には至っていない。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	健康面については変化のあったその都度連絡している。面会の少ない家族については月1回、預り帳や通帳のコピー、広報誌を郵送し報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員及び外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族には、毎月報告の手紙を送付したり、訪問時に意見や苦情を表わせる場があることを繰り返して説明している。また、家族会や第三者委員を設置し課題を検討し質の向上を目指す取り組みをしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 有( 円) 無	職員体制については、法人内で検討を重ね経験を積んだ職員を配置するなど熟慮されている。また、法人内他のグループホームの職員が交流のため顔を出したりするなどの取り組みがなされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	無 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の事業計画の中で研修派遣計画及び、内部研修計画を作成し、活用されている。研修受講後においては、伝達研修を行うなど参加していない職員にも周知されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	宮城県認知症グループホーム協議会に加盟し、他施設間との交流、研修会などに職員が参加している。その中で、グループホーム間での相互評価を行なうなどして、サービスの質の向上にも取り組んでいる。		

外部	自己	475400461	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取組を期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	なじみながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	長く一緒に生活していくことを考え、入居前に見学や体験利用を数回設け、本人、家族と十分話し合いをしながら調整をしている。また、法人内デイサービスセンターやショートステイ利用者については、利用時に何度か足を運んでいただき、関わりをもっていただきながら、徐々に入居になじめるような工夫がなされている。		
13	27	本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支え合う関係を築いている	利用者が炊事、洗濯等の家事に参加する取り組みを通して、生活文化の大切さを学び利用者職員と支え合う関係が築かれている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや、暮らし方の希望や意向について、アセスメント時や、介護計画作成後においても、家族・本人から生活上の希望を何う等把握し、本人の意向を踏まえた介護計画づくりに努めている。		
プラン作成後も					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアの在り方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の状況に合わせて、職員会議や、カンファレンスなどを通じて話し合い、家族にも相談した上で、個別にその人の意向にあった介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	最低3か月に1回は計画の見直しを行い、状況の確認のため、月1回程度は本人、家族と話し合いを行っている。また、内容については家族・本人に同意を得ている。		

外部	自己	475400461	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取組を期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の馴染みの場所への外出や、在宅時のかかりつけ医への通院支援などの個別の外出、外泊にも柔軟に対応し、個々の満足度を高めるよう努力している。		
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地域からの入居が多く、利用者の半数が入居前からのかかりつけの医療機関を受診している。受診時には家族の協力を得ることもある。受診後は家族へ電話連絡し報告している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期の在り方について、できるだけ早い段階から本人や家族等及びかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取り介護指針や重度化に対するマニュアルを定め、本人・家族とホーム関係者間で話し合いを行い、家族に本人に説明・同意の上方針の統一を図っている。また、対象になる場合は文書による意思確認を行なっている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉掛けや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄時について、利用者の状況を見てさりげない支援をしている。個人の記録については、棚に鍵をかけ、磨りガラスで名前が見えない様に保管されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	起床、食事、入浴などが利用者一人ひとりのペースで生活できるよう柔軟な対応がなされている。		

外部	自己	475400461	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取組を期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者の希望を聞きながら作成し、利用者の力を活かしながら、食事の準備が行われている。職員も利用者と同じ食事を摂りながら必要な人にはさりげなく食べこぼし処理などの支援を行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個別の習慣を把握し、利用者が希望する入浴の支援をしている。また、入浴剤を使用し、入浴への意欲が高まるよう工夫がなされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	草花が好きな利用者には中庭の花や畑の世話をさせていただいたり、家事が得意な利用者には手伝っていただくことで、利用者の役割、楽しみごとが作り出せるように働きかけを行っている。また、散歩をしながら通院する等、気晴らしの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出掛けられるよう支援している	散歩や買い物、個々の希望に応じて積極的に外出している。また、個人のなじみの場所への外出支援も積極的に取り入れている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及びすべての職員が、居室や日中玄関に鍵を掛けることの弊害を理解しており、鍵を掛けないケアに取り組んでいる	夜間のみ施錠を行っている。しかし危険が予測される場合においては、家族への説明の上で施錠することもある。ホームでは事故を防ぐ観点から、近隣の美容室などの近所に顔なじみになれるような取り組みを開所時からつづけており、近隣の理解も得られ、見守り的な役割を担っている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろから地域の人々の協力を得られるよう働き掛けている	マニュアルを作成し、地域の方と一緒に年2回の防災訓練を実施しており、地域によって作成された防災マップが活用されている。災害時には、地域の方が駆けつけていただけるよう働きかけがなされている。また、災害時の食料、飲料水などの備蓄については2、3週間分準備している。		

外部	自己	475400461	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取組を期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	週ごとに職員と利用者で献立を考え、法人内の管理栄養士に指導を受けている。水分補給については、1日の流れで把握できるようチェックをしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感や季節感があり、家庭的な雰囲気が作られている。テレビがつけたままになっていることもなく、利用者にとって快適な生活が送れるよう工夫がなされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族に馴染みのものを持ち込んでいただけるようなお願いを継続的に働きかけ、利用者本人が居心地が良く、安心して過ごせる居室作りへの工夫がなされている。		